

生徒・保護者のみなさまへ

平成 27 年度

学習評価と授業内容について
3 年



大阪市立 西中学校



() 年 () 組 () 番 名 前 ()

平成27年度

学習評価と授業内容について

目 次

1. 評価方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P.2
2. 年間テスト実施計画・・・・・・・・・・・・・・・・	P.3
3. 各教科の評価基準と年間計画	
国 語・・・・・・・・・・・・・・・・	P.4
社 会・・・・・・・・・・・・・・・・	P.6
数 学・・・・・・・・・・・・・・・・	P.8
理 科・・・・・・・・・・・・・・・・	P.10
音 楽・・・・・・・・・・・・・・・・	P.12
美 術・・・・・・・・・・・・・・・・	P.14
保健体育・・・・・・・・・・・・・・・・	P.16
技術・家庭・・・・・・・・・・・・・・・・	P.18
外国語（英語）・・・・・・・・	P.20
4. 参考資料（大阪市教育センターより）	
「ひとり学び」のポイントについて・・・・・・・・	P.22
5. 西中学校ホームページについて・・・・・・・・	P.27

1. 評価方法

今まで大阪市では、定められた評定人数に従って学年内の序列を示す「集団に準拠した評価（相対評価）」という方法を用いてまいりました。しかし、平成 28 年度高等学校入学者選抜より「目標に準拠した評価（絶対評価）」を選抜の資料として用いることになるなど、評価の方法が大きく変わるため、本校においても、平成 26 年度より「目標に準拠した評価（絶対評価）」を導入しております。

「目標に準拠した評価（絶対評価）」とは、学習目標を設定し、その達成度によって評価する方法です。各教科の評価の観点及び目標は、文部科学省の学習指導要領に基づいたものです。定期テストの点数が評定の資料となることは変わりませんが、今までよりも、生徒それぞれの日常の学習の様子が、評価に大きく反映されることとなります。ご家庭でも学習の支援をお願いします。

各教科の指導内容や評価の詳細につきましては、後記をご参照ください。なお、学校ごとの評価基準のずれを修正するために、大阪府下の全中学校で統一の学力診断テスト(チャレンジテスト)を実施し、選抜の資料として用いることとなりました。他にも、中学3年生につきましては、入学者選抜の資料として活用するために、大阪市統一テストや全国学力学習調査の結果を加味するなどの計画がなされております。但し、未だ詳細は発表されておきませんので、あらかじめご了承ください。

その他、今後も大阪府・大阪市の学校教育に関わる事項は、様々な変更が予想されますが、本校のホームページなどでその都度ご案内いたします。

2. 年間テスト実施計画

○ 定期テスト

	実 施 日	1 限	2 限	3 限	4 限		実 施 日	1 限	2 限	3 限	4 限
一学期 中間	5月28日(木)	社	理	避難 訓練		一学期 期末	6月24日(水)	理	国	技家	
	5月29日(金)	国	数	英	避難 訓練 予備日		6月25日(木)	社	数		
							6月26日(金)	英	1: 美 2: 音 3: 音		
二学期 中間	10月15日(木)	社	理	1: 音 2: 保体 3: 美	3: 技家	二学期 期末	11月24日(火)	社	1: 保体 2: 美 3: 保体	1: 技家 2: 技家 3: 音	
	10月16日(金)	国	英	数			11月25日(水)	理	国		
					11月26日(木)		英	数			
3 年 学 年 末	1月27日(水)	国	社	理		1・2 年 学 年 末	2月24日(水)	社	英	音	
	1月28日(木)	数	技家				2月25日(木)	理	国	技家	
	1月29日(金)	英	保体				2月26日(金)	数	保体		

※ 国社数理英・50分 実技科目(技家・音・美・体)・30分

※ 1年1学期の中間テスト 英語は40分

○ 3年実力テスト(年6回) / 1・2年課題テスト(8月26・27日)

実 施 日	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	実 施 日	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
1回 6月3日(水)	英	数	社	理	国	5回 1月12日(火) 1月13日(水)	国	数	英		
2回 8月26日(水) 8月27日(木)	数 国	社 英	理				理	社			
3回 10月20日(火)	社	理	国	英	数	6回 2月25日(木) 2月26日(金)	国	数	英		
4回 12月1日(火)	理	国	英	数	社		理	社			

○ その他


- ・全国学力・学習状況調査(3年)4月21日(火) 国A・国B・数A・数B・理・質問
- ・1・2年夏休み課題テスト8月26日(水)数・社・理 8月27日(木)国・英
- ・府下統一チャレンジテスト 1・2年 1月13日(水)(予定)
- ・大阪市統一テスト 3年生進学テスト(未定:10月頃)
- ・大阪市 英語能力判定テスト

※ 定期テストや実力テストを欠席した場合、その他の評価材料を対象として評価をします。

※ テストの実施予定日など各種予定は変更になる場合があります。月中行事予定表でご確認ください。

3. 各教科の評価基準と年間計画

○ 評価基準【国語】

 中学【3】年【国語】科			
1. 授業担当者名【櫻井・小松】			
2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)			
<p>ワーク・ノート・プリント・作文などは、丁寧に点検・推敲して提出すること。 授業中にも自主学習を心がけましょう。 国語辞典を準備しておく、授業中に予習できます。また、言葉や文字の確認ができます。</p>			
3. 評価基準			
	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高め、国語に対する認識を深め、自己を向上させようとしている。	提出状況と記述内容 授業態度
②	話す・聞く能力	目的や場面に応じ、課題の解決に向けて話し合っている。表現の工夫を評価して聞いている。	発表の様子 スピーチ原稿や聞き取りの記録
③	書く能力	目的や場面に応じ、文章の形態を選択し、論理の展開を工夫して説得力のある文章を書いている。	文章の要約 作文 テスト・ワークなどの記述
④	読む能力	文章の展開や表現の仕方を評価しながら読み、人間・社会・自然などについて自分の意見を持つ。	朗読・発表の様子 読後感想(文) テスト・ワークなどの記述
⑤	言語についての知識・理解・技能	言葉の特徴を理解して使う。漢字を理解し、書写の知識を効果的に使って文字を書く。	発表の様子 俳句・書写などの作品 テスト・ワークなどの記述
4. 準備物・持ち物・教材など			
教科書(光村図書) 便覧 ワーク 漢字ノート 文法ノート 授業ノート 書写教科書 硬筆練習教材 習字道具 ファイル			
5. 備考			
○ 教科の年間計画を参考に、予習復習をきちんと行いましょう。			
○ 教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。			
○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなっています。			

○ 年間計画【国語】

中学【3】年【国語】科

1. 授業担当者名【櫻井】

2. 年間指導計画

学期	月	週	指導内容	備考
1	4	2	朝焼けの中で	
		3	握手	
		4	和語・漢語・外来語	
	5	1	月の起源を探る	
		2	俳句の可能性	
		3	行書に調和する仮名	
		4	行書と仮名を調和させて書こう	
	6	1	推敲して文章を書こう	
		2	自分の魅力を伝えよう	
		3	熟語の読み方	
		4	文法を生かす	
	7	1	読書と情報	
		2	読書生活をデザインしよう	
		3	用具を効果的に生かして、調和よく書く	
2	8	4	挨拶	
		1	故郷	
	9	2	話し合いを効果的に進めよう	
		3	慣用句・ことわざ・故事成語	
		4	文章の形態を選んで書こう	
	10	1	君待つと一万葉・古今・新古今	
		2	夏草―「おくのほそ道」から	
		3	古典の伝統	
		4	お薦めの古典を贈ろう	
	11	1	論理の展開に着目して読もう	
		2	課題解決に向けて話し合おう	
		3	文法のまとめ	
		4	ネット時代のコペルニクス	
	12	1	漢字の造語力	
		2	漢字のまとめ	
		3	書写学習の成果を生かそう	
3	1	2	学びて時にこれを習ふ―「論語」から	
		3	アラスカとの出会い	
		4	温かいスープ	
	2	1	聴くということ	
		2	わたしを束ねないで	
		3	三年間の歩みを編集しよう	
		4	まとめ	
	3	1	まとめ	
		2		
		3		

3. 備考

※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。

○ 評価基準【社会】

<div style="display: flex; align-items: center;"> <div> <p style="margin: 0;">中学【3】年【社会】科</p> </div> </div>			
1. 授業担当者名【河野・古岡】			
2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)			
<p>今年度は歴史分野の学習が終了するまでは、歴史分野3時間（古岡担当）、公民分野1時間（河野担当）で並行学習していきます。歴史分野が終了すれば、4時間すべてが公民分野の学習となり、単元や分野ごとに二人で担当していきます。</p>			
3. 評価基準			
	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追及し、よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における観察 ・ノートやワークシートの記述 ・レポートなどの作成や発表 ・ペーパーテストの結果 ・小テストの結果
②	社会的な思考・判断・表現	社会的事象から課題を見出し、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における観察 ・ノートやワークシートの記述 ・レポートなどの作成や発表 ・ペーパーテストの結果
③	資料活用技能	社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における観察 ・ノートやワークシートの記述 ・レポートなどの作成や発表 ・ペーパーテストの結果
④	社会的事象についての 知識・理解	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における観察 ・ノートやワークシートの記述 ・ペーパーテストの結果 ・小テストの結果
4. 準備物・持ち物・教材など			
○教科書 ○ノート（歴史用と公民用の2冊を準備して下さい。）、問題集			
5. 備考			
<p>○ 各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。</p> <p>○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。</p> <p>○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。</p> <p>○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。</p>			

○ 年間計画【社会】

中学【3】年【社会】科

1. 授業担当者名【河野・古岡】


2. 年間指導計画

学期	月	週	指導内容【歴史分野・公民分野】	指導内容【公民分野】
1	4	2	欧米の発展とアジアの植民地化	わたしたちの生活と現代社会
		3		
		4	近世から近代へ	
	5	1		人権と日本国憲法
		2	近代国家へのあゆみ	
		3		
	6	4	自由民権運動と国会開設	人権と共生社会
		1		
		2	日清・日露戦争と東アジアの動き	
	7	3	近代日本の社会と文化	これからの人権保障
		1	第一次世界大戦と戦後の世界	
		2		
2	8	3	大正デモクラシーの世界	現代の民主政治
		4	世界恐慌と日本	
		1	中国との全面戦争	
		2		
	9	3	第二次世界大戦と日本	国の政治のしくみ
		4		
		1	平和と民主化への動き	
		2		
	10	3	国際化する世界と日本	地方の政治と自治
		4		
		1	くらしと経済	
		2		
	11	3	生産と労働	国際社会と世界平和
		4		
		1		
		2	価格の働きと金融	
3	1	3		よりよい社会をめざして
		4	国民生活と福祉	
		1		
	2	2		国際社会と世界平和
		3		
		4		
	3	1	国際関係とわたしたち	よりよい社会をめざして
		2		
		3		

3. 備考

※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。

○ 評価基準【数学】

 <div>中学【3】年【数学】科</div>			
1. 授業担当者名【小島・西山】			
2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に参加しよう ・ノートを書こう ・身だしなみをきちんとしよう <p>数学はつみ木の世界に似ています。分からない難問でも、時間をかけて知識と技能を積み上げていけば、いつか正解にたどり着けます。あきらめずに挑戦してください。</p>			
3. 評価基準			
	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	数学への関心・意欲・態度	関心を持ち、楽しさやよさを実感し、数学を活用したりしようとする。	授業における観察 忘れ物 宿題・ノートなどの提出物
②	数学的な見方や考え方	論理的に考察し表現したり、考えを深めたりする。	授業における観察 ペーパーテスト(定期・実力・小テストなど)の該当する部分(確認問題)
③	数学的な技能	数学的に表現し処理する技能を身に付けている。	授業における観察 ペーパーテスト(定期・実力・小テストなど)の該当する部分(基本問題)
④	数量や図形などについての知識・理解	基礎的な概念や原理・法則などについて、理解し、知識を身に付けている。	授業における観察 ペーパーテスト(定期・実力・小テストなど)の該当する部分(応用問題)
4. 準備物・持ち物・教材など			
○教科書 ○ノート ○問題集			
5. 備考			
<p>○ 各教科の年間計画を参考に、予習復習をきちんと行いましょう。</p> <p>○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。</p> <p>○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。</p> <p>○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。</p>			

○ 年間計画【数学】

中学【3】年【数学】科

1. 授業担当者名【小島・西山】

2. 年間指導計画

学期	月	週	指導内容	備考		
1	4	2	1章 式の展開と因数分解			
		3				
		4				
	5	1				
		2				
		3				
	6	4	2章 文字の式			
		1				
		2				
		3				
	7	4	3章 二次方程式			
		1				
2						
2	8	3	4章 関数 $y=ax^2$			
		4				
		1				
		2				
	9	3	5章 図形と相似			
		4				
		1				
		2				
	10	3				
		4				
		11		1	6章 円の性質	
				2		
	3					
	4					
	12	1				
		2				
3						
3	1	3	7章 三平方の定理			
		4				
		1				
	2	2	8章 標本調査			
		3				
		4				
		1				
	3	2	まとめ			
		3				
		4				
	3. 備考					
	※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。					


○ 評価基準【理科】

<div style="display: flex; align-items: center;"> <div> <p style="margin: 0;">中学【3】年【理科】</p> </div> </div>			
1. 授業担当者名【藤田】			
2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)			
<p>・授業は、教室や第1理科室・第2理科室で行います。授業は、先生の発問に対して君たちが返答したり、先生の説明に、君たちが質問する相互交流を中心に行いたいと考えています。ノートをとるときは、先生の説明が終わってからにする。さらに大切な点をメモしたり、アンダーライン等でできればさらによいでしょう。チャイムが鳴って先生が教室に入ってくるまでに授業の用意をしておくこと。</p>			
3. 評価基準			
	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	自然現象への関心・意欲・態度	実験や観察などの授業に集中して取り組むなど、意欲的に取り組んでいる。自分の考えを意欲的にまとめたり、発表しようとしていたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における行動観察 ・発表や発言の様子 ・ノートやワークシートの記述 ・宿題の提出 ・観察・実験レポートの作成
②	科学的な思考・表現	実験観察の結果に基づいて、論理的に考察できている。文章その他の方法で表現できている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における行動観察 ・定期テストの結果
③	観察・実験の技能	実験装置を組み立てたり、片付けたりする。実験結果を図や表を用いて、記録している。グラフ作成にあたって、横軸・縦軸を適切に設定して、目盛りを記入し、実験データを基に正しく点を打ち、点と点の間を適切な線で結んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における行動観察 ・観察・実験レポートの記述 ・定期テストや実力テストの結果 ・実技テストの結果
④	自然現象についての知識	基本的事項、原理・原則を理解し、知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における行動観察 ・定期テストや実力テストの結果 ・小テストの結果
4. 準備物・持ち物・教材など			
○サイエンス・マイノート、授業用ノート、定規、のり、筆記用具			
5. 備考			
○ 各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。			
○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。			
○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。			
○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。			

○ 年間計画【理科】

中学【3】年【理科】					
1. 授業担当者名【 藤田 】					
2. 年間指導計画					
学期	月	週	指導内容	備考	
1	4	2	大気の様子と日本の四季		
		3			
		4			
	5	1	【生命】 生命の連続性		
		2			
		3			
	6	4	【地球】 地球と宇宙		
		1			
		2			
		3			
	7	4			
		1			
2					
2	8	3	【物質】 化学変化とイオン		
		4			
		1			
	9	2			
		3			
		4			
	10	1	【エネルギー】 運動とエネルギー		
		2			
		3			
	11	4			
		1			
		2			
3					
12	4				
	1				
	2				
3	1	3	【環境】 自然と人間		
		4			
		1			
	2	2			
		3			
		4			
	3	1			
		2			
		3			
	3. 備考				
	※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。				

○ 評価基準【音楽】

 <div> <p>中学【3】年【音楽】科</p> </div>			
1. 授業担当者名【ツール】			
2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)			
<p>○日々の授業を大切にしましょう。</p> <p>表現の領域では合唱や、リコーダー合奏などに取り組みます。一人では味わえないハーモニーを味わえるよう、積極的に練習に取り組みましょう。</p>			
3. 評価基準			
	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	音楽への関心・意欲・態度	音や音楽に対する関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組む。	・授業における行動観察・発言、発言の内容・練習の参加状況・ワークの記述、提出状況
②	音楽表現への創意工夫	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、思いや意図を持って音楽表現を工夫する。	・授業における行動観察・発言、表現・楽譜やワークなどの記録・ワークの記述、提出状況
③	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表す。	・実技テスト・作品
④	鑑賞の能力	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わう	・授業における行動観察・ノートやワークの記述・バーバーテストの結果
4. 準備物・持ち物・教材など			
<p>○教科書(中学生の音楽下、中学生の器楽の2冊) ○A4版ファイル ○アルトリコーダー</p> <p>○体育館シューズ</p>			
5. 備考			
<p>○各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。</p> <p>○各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。</p> <p>○中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。</p> <p>○目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。</p>			

○ 年間計画【音楽】

中学【3】年【音楽】科				
1. 授業担当者名【トール】				
2. 年間指導計画				
学期	月	週	指導内容	備考
1	4	2	クラスの歌声作り	
		3	クラスの歌声作り	
		4	外国語の歌に親しむ	
	5	1	三部合唱	
		2	曲想にあった音色を工夫しよう	
		3	アルトリコーダー	
	6	4	外国語の歌に親しむ	
		1	外国語の歌に親しむ	
		2	鑑賞：耳でたどる西洋音楽史	
		3	日本語の歌詞を活かした歌	
	7	4	リコーダー独奏	
		1	曲想を活かした音色で吹く	
2		コードネーム		
2	8	3	各パートのメロディーを歌う	
		4	ハーモニーを作る	
		1	三部合唱をまとめ、完成させる	
		2	アルトリコーダーアンサンブル	
	9	3	アルトリコーダーアンサンブル	
		4	耳でたどる音楽史Ⅱ	
		1	雅楽に触れる	
		2	能・狂言	
	10	3	心の歌	
		4	各パートのメロディーを歌う	
		1	ハーモニーを作る	
		2	三部合唱をまとめ、完成させる	
	11	3	三部合唱をまとめ、完成させる	
		4	三部合唱をまとめ、完成させる	
		1	三部合唱をまとめ、完成させる	
		2	ギター実習	
12	3	ギター実習		
	1	2	ギター実習	
		3	ギター実習	
4		ギター実習		
3		2	1	校歌・蛍の光・卒業の歌
	2		校歌・蛍の光・卒業の歌	
	3		校歌・蛍の光・卒業の歌	
	4		校歌・蛍の光・卒業の歌	
	3	1	校歌・蛍の光・卒業の歌	
		2	校歌・蛍の光・卒業の歌	
		3	校歌・蛍の光・卒業の歌	
		3. 備考		
※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。				


○ 評価基準【美術】

<div style="display: flex; align-items: center;"> <div> <p style="margin: 0;">中学【3】年【美術】科</p> </div> </div>			
1. 授業担当者名【篠原】			
2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)			
<p>まずは授業に出席すること。週に1度の授業です。</p> <p>皆さんは誰でも、素晴らしい作品をつくることはできます。素晴らしい美術の作品をつくることはできるかどうかは、絵が得意かどうかではなく、人の話をきちんと聞き、作業に集中できるかどうかです。一度集中して作品をつくることができれば、自分自身の中やクラスのほかの人の作品を見たときに、新しい発見がたくさんあるでしょう。</p>			
3. 評価基準			
	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	美術への関心・意欲・態度	積極的に表現や鑑賞の授業に取り組もうとしている。	授業における観察 宿題や作品の提出
②	発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて発想している。形や色の効果を生かそうとしている。表現の構想を練っている。	授業における観察 アイデアスケッチ ワークシート 制作途中の作品や完成品 ペーパーテスト
③	創造的な技能	表現の技能を身につけている。意図に応じて、表現方法を工夫しようとしている。	授業における観察 制作途中の作品や完成品 ペーパーテスト
④	鑑賞の能力	美術作品をみて、感性や想像力を働かせている。美術文化を理解している。	授業における観察 話し合いの様子や発言内容 ワークシート ペーパーテスト
4. 準備物・持ち物・教材など			
○教科書(上・下) ○資料集 ○スケッチブック ○絵の具セット ○色鉛筆 ○雑巾 ○鉛筆(HB・2B各一本ずつ)			
5. 備考			
○各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。 ○各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。 ○中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。 ○目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。			

○ 年間計画【美術】

中学【3】年【美術】科					
1. 授業担当者名【篠原】					
2. 年間指導計画					
学期	月	週	指導内容	備考	
1	4	2	遠近法の基礎②		
		3			
		4			
	5	1	遠近法を用いた絵		
		2			
		3			
	6	4			
		1			
		2			
	7	3			
		4			
		1			
2	8	2		篆刻	
		3			
		4			
	9	1			
		2			
		3			
	10	4			
		1			
		2			
	11	3			
		4			
		1			
12	2				
	3				
	4				
3	1	2	絵手紙		
		3			
		4			
	2	1			
		2			
		3			
	3	4			
		1			
		2			
	3. 備考				
	※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。				

○ 評価基準【保健体育】

 <div> <div>中学【3】年</div> <div>【保健体育】科</div> </div>			
1. 授業担当者名【石躍・横江】			
2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)			
<p>まずは、授業に参加しましょう。そのためには、日々の体調管理をしっかりすること、体操服などの準備を忘れないことです。体操服忘れは「見学」となり、忘れ物と二重の減点になります。気を付けましょう。</p> <p>体育の授業は、運動神経を評価するものではありません。取り組みの姿勢や、積極性などに重点を置いて評価します。また、ペーパーテストや技能テスト・記録だけでなく、「集団行動」・「ラジオ体操」などの「やれば誰でも出来ること」の配点を高く設定しています。一時間一時間、真面目に進んで取り組みましょう。</p>			
3. 評価基準			
	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	運動や健康・安全への 関心・意欲・態度	○運動の楽しさや喜びを味わうことができる。 ○互いに協力し、励ましあいながら学習ができる。 ○自らの課題に気づき、課題解決に積極的に取り組むことができる。	○実技授業の出欠 ○実技授業の見学 ○取り組みの姿勢（積極性） ○学習カード・ノート等の提出状況
②	運動や健康・安全についての 思考・判断	○学習した知識を、学習場面や学校生活で活用することが出来る。 ○自己の課題に応じた適切な取り組みができる。 ○用具や活動場所の安全に留意して活動し、協力して準備や片付けができる。	○取り組みや活動の様子 ○実技授業の忘れ物の数 ○学習カードやノートの記入内容
③	運動の技能	○集団行動の約束事を守り、協力して行動できる。○ラジオ体操第二を正しく行える。○各種目の基本技能習得に前向きに取り組む、実技テスト課題項目をクリアできる。	○集団行動 ○ラジオ体操 ○各種目の記録や実技テストの結果
④	運動や健康・安全についての 知識・理解	○各種目の特性について理解している。 ○各種目のルールや技の名称などを理解している。 ○保健分野において、単元の内容の基礎的な事項について理解している。	○保健授業の出欠 ○定期テストの結果 ○保健授業に関する忘れ物
4. 準備物・持ち物・教材など			
○体操服 ○体育館シューズ ○保健の教科書・ノート ○実技の教科書			
5. 備考			
○ 各教科の年間計画を参考に、予習復習をきちんと行いましょう。 ○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。 ○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。 ○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。			

○ 年間計画【保健体育】

中学【3】年【保健体育】科

1. 授業担当者名【石躍・横江】

2. 年間指導計画

学期	月	週	指導内容	備考
1	4	2	オリエンテーション	
		3	集団行動	
		4		
	5	1	ラジオ体操	
		2		
		3	スポーツテスト	
	6	4		
		1		
		2	水 泳	
		3		
		4		
	7	1		
		2		
		3		
2	8	4	体育大会	
	9	1		
		2		
		3		
	10	4	陸 上	
		1		
		2		
		3		
	11	4	武 道	
		1		
		2		
		3		
	12	4	ダンス	
		1		
		2		
3	1	3	長距離走	
		4		
		1		
	2	2	球 技	
		3		
		4		
		1		
	3	2		
		3		
		1		

保健の授業は、年間を通して行っています。

3. 備考

※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。

○ 評価基準【技術・家庭】

<div style="display: flex; align-items: center;"> <div> <p style="margin: 0;">中学【3】年【技術・家庭】科</p> </div> </div>			
1. 授業担当者名【技術：西本 家庭：福井】			
2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)			
<p>技術家庭の時間は週1回です。技術・家庭が交代に隔週の授業になります。</p> <p>技術：「今日もにこやか安全第一」 1回の授業を大切にしてください。2学期からは実技実習も始まります。安全を第一に考え、ものづくりのすばらしさを感じてください。</p> <p>家庭：授業数が少ないなかで、調理実習や幼稚園児との交流にむけての作品制作もあります。作業が遅れないように1回ずつの授業を大切にしてください。</p>			
3. 評価基準			
	評価の観点	B 到達目標	評価方法の例
①	生活や技術への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ノートやプリント類の記入をきちんとする。 作業、実習を意欲的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業における行動観察 発表や発言の様子 ノートやワークの記述 作品やノートなどの提出状況
②	生活を工夫し創造する能力	<ul style="list-style-type: none"> 作業前の準備や後片付けが手際よくできる。 作品のデザイン、計画や作業手順の工夫ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業における行動観察
③	生活の技能	<ul style="list-style-type: none"> 実習道具を正しく使い、安全に注意して作業ができる。 作業手順、作業方法を理解し、正しく丁寧に作業ができる。 時間配分を考え、作品を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業における行動観察 ノートやワークなどの記述 作品の完成度
④	生活や技術についての 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> プリント等の提出物を考慮する。 定期テストの結果を考慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業における行動観察 ノートやワークの記述 定期テストの結果
4. 準備物・持ち物・教材など			
<p>技術：・教科書 ・ファイル</p> <p>家庭：・教科書・ノート・エプロン</p>			
5. 備考			
<p>○ 各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。</p> <p>○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。</p> <p>○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。</p> <p>○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。</p>			

○ 年間計画【技術・家庭】


中学【3】年【技術・家庭】科

1. 授業担当者名【福井】

2. 年間指導計画

学期	月	週	家 庭	技 術
1	4	2	私の成長と家族	「エネルギー変換に関する技術」 ・ 私たちの生活とエネルギー変換 ・ エネルギーの変換と利用 ・ 機器の安全な利用と保守点検
		3		
		4	幼児期について ・ 幼児の体の発達	
	5	1		
		2	幼児の心の発達	
		3		
	6	4	子どもの成長と家族の役割	
		1		
		2	幼児の遊びと発達	
	7	3		
		4	幼児と遊ぶおもちゃ作り（実習）	
		1	・ 手作り絵本	
2	8	2	※1学期と2学期に各1回ずつ調理実習をする予定	「エネルギー変換に関する技術」 ・ エネルギー変換に関する実習
		3		
		4		
	9	1	・ 手作りメダル（幼稚園児との交流に向けて）	
		2		
		3		
	10	4		
		1		
		2		
	11	3	住まいのはたらき	
		4		
		1	住まいのさまざまな役割	
12	2			
	3	住まいの空間と使い方		
	4			
3	1	1	住まいの安全対策、災害への備え	「エネルギー変換に関する技術」 ・ エネルギー変換に関する技術とわたしたち ・ まとめ
		2		
		3	快適な住まい	
	2	4		
		1	インテリアコーディネートにチャレンジ（実習）	
		2	人生すごろく（実習）	
	3	3		
		4		
		1		
		2		
		3	3年間で振り返って まとめ	
		4		
3. 備考				
※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。				

○ 評価基準【英語】

<div style="text-align: center;">  中学【3】年【英語】科 </div>			
1. 授業担当者名【森川・若江】			
2. 授業担当者より(授業概要・学習のポイント・約束事・自己紹介など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、ノート、ファイルは、毎回忘れないようにしよう。 ・授業中は集中して積極的に参加しよう。 ・宿題、ワーク、ノートなどの提出物に真剣に取り組もう。 ・新しく習う3年生の勉強と並行して、1、2年生の学習内容も復習していこう。 ・英語を楽しむには、小さな努力の積み重ねが必要です。がんばりましょう。 			
3. 評価基準			
評価の観点	B 到達目標	評価方法の例	
① コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	「聞く」「話す」「読む」「書く」の言語活動に積極的・意欲的に取り組み、コミュニケーションを続けようとするができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・宿題・ノート・ワークの提出状況と達成度 	
② 外国語表現の能力	初歩的な英語の情報を読み取ったり、適切な音読をしたり、場面や相手に応じて自分の考えや気持ちなどを正しく話したり書いたりできる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・課題テスト・実力テスト・小テストの対応する問題 	
③ 外国語理解の能力	初歩的な英語の情報を、場面や相手に応じて、正しく聞いたり、読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・課題テスト・実力テスト・小テストの対応する問題 	
④ 言語や文化についての 知識・理解	言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。初歩的な英語の学習において取り扱われた文化について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の英語でのコミュニケーション ・定期テスト・課題テスト・実力テスト・小テストの対応する問題 	
4. 準備物・持ち物・教材など			
○教科書(New Crown 3) ○ノート ○ファイル(A4)			
5. 備考			
<p>○ 各教科の年間計画を参考にして、予習復習をきちんと行いましょう。</p> <p>○ 各教科の【評価の観点】において、どのくらい達成したのかをはかり、5段階で評価します。</p> <p>○ 中学校1年生からの評価が高等学校進学など、進路を決める際に使われることとなりました。</p> <p>○ 目標に準拠した評価になり、定期試験以外の評価(提出物や授業の様子)の比重が大きくなりました。</p>			

○ 年間計画【英語】

中学【3】年【英語】科

1. 授業担当者名【森川・若江】

2. 年間指導計画

学期	月	週	指導内容	備考
1	4	2	Lesson 1 My Favorite Words	
		3		
		4	We're Talking 1 道案内をしよう	
	5	1		
		2	Lesson 2 Finland -Living with Forests-	
		3		
	6	4	We're Talking 2 どうかしましたか	
		1		
		2	Lesson 3 Rakugo Goes Overseas	
	7	3		
		4	We're Talking 3 買い物をしよう	
		1		
8	2	Lesson 4 The Story of Sadako		
	3	We're Talking 4 気分転換しよう		
	2	8	4	Let's Read 1 Learning from Nature
1				
2				
9		3	Lesson 5 Houses and Lives	
		4		
		1	We're Talking 5 バッグを持ちましょうか	
10		2		
		3	Lesson 6 I Have a Dream	
		4		
11		1	We're Talking 6 卵料理はいかがですか	
		2		
		3	Lesson 7 We Can Change Our World	
12	4			
	1			
	2	We're Talking 7 電話をしよう		
3	1	3		
		4		
		2	Lesson 8 English for Me	
2	1	2	We're Talking 8 約束をします	
		3		
		4	Let's Read 2 A Moment of Peace	
3	1	2		
		3		
		4	3年間の総復習	
3. 備考				
※ 各学期の学習内容を確認し、しっかり予習復習をしましょう。				

4. 参考資料：「ひとり学び」のポイント（大阪市 教育センターより）

中学校1・2・3年生の皆さんへ

「ひとり学び」にトライしよう！

学ぶことは、自分自身の可能性を高め、自分の夢の実現や、豊かに生きることにつながります。やれば必ず成果が出ます。「ひとり学び」で学ぶ力を高めよう！



中学校1・2年生

□ 自分の生活リズムの中に、自主学習を入れよう

- ・中学校では、教科ごとに先生がかわる、いわゆる教科担任制になります。また、部活動なども始まります。まず、中学校の生活リズムに慣れることが大切です。学習と部活動などとの両立は慣れるまで大変ですが、時間を有効に使うことを心がけましょう。
- ・学習内容が小学校に比べて広がるとともに詳しくなり、学習量も多くなります。定期テストもあります。宿題のあるなしにかかわらず、自分で計画的に学習を進める必要があります。

□ 自分にあった、自分流の家庭学習の方法を

- ・家庭学習の内容は、宿題はもちろんのこと、学校の授業にあわせて、予習や復習を中心に行うことが大切です。学習時間を、「宿題以外に、『20分×4教科の学習』で1日80分しよう」などと自分で決めて、学習を続けましょう。
- ・その日の授業の内容を、その日のうちに教科書、ノート、プリントなどでふりかえり、ポイントを整理するなど、復習に重点を置いて取り組むとともに、予習もできるように心がけましょう。
- ・学習方法については、先生とよく相談をして、自分にあった効果的な仕方で行いましょう。

□ 分からないことをそのままにしない

- ・分からないことが出てきたらできるだけ早く解決することです。自分で、教科書を見直したり、例題で考え方を確かめたり、友達や先生に相談したりするとよいでしょう。分からないことをそのままにせず、解決していくことが、学習への自信につながっていきます。



中学校3年生

□ 自分の将来を見すえた目標をはっきりと持とう

- ・自分の進路を選択する、人生の節目の時期です。「やらなくては」と思いながら、そのとおりでできない自分にあせったり、いらだいたりしがちです。先生やお家の方とよく話し合って、将来を見すえた具体的な目標を持つことが、意欲の向上・学習への集中につながります。ぜひ、話し合いの時間を持ちましょう。

□ 年間スケジュールを考えよう

- ・3年生は、中学校3年間のまとめの時機です。1・2年生の学習も含めて、総復習をするための時間が必要になります。このことも学習計画に入れましょう。
- ・1年間の、学習のスケジュールを考えることで、どの時期に自分が何をすべきかがはっきりします。特に、夏休みや冬休みは、継続的に学習できる絶好の機会です。夏休みは1・2年生の時の復習、冬休みはラストスパートなど自分の計画を立てましょう。

□ 時間を有効に使おう

- ・3年生は、行事や部活動で、中心になって活動することになります。起床から就寝までの生活の見直しを行い、時間の使い方を工夫し、学習との両立を図るのも大切なことです。
- ・日頃の授業を大切にすることや、計画的な家庭学習を継続することで、基礎・基本を確実に身につけることも、時間を有効に使うことです。

勉強は、
自分の夢につながるんだ！

勉強は、
自分の可能性を広げるんだ！

勉強したいけど、
やり方がわからない…

家では、どんな
勉強をしたらいいんだろう…

「ひとり学び」のポイント！



「もっとできるようになれば…」 「学習をしたいけど、方法が分からない」
といった生徒の皆さんの声を聞くことがよくあります。
そこで、皆さんに「ひとり学び」のポイントを紹介します。

国語



★ 日常生活、コミュニケーション、学習、考えることなど…言葉が必要です。
国語の学習が大切なことは誰もが認めることでしょう。

□ 声に出して読む

「声に出して読む」ことは、文章を理解するための第一歩です。教科書の文章を、声に出して読むことで、読めない漢字に気がついたり、内容も頭に浮かぶようになったりします。毎日1度は声に出して読むことで自然と読解力がついてきます。好きな詩や俳句などを暗唱するのもいいですね。

□ 漢字を書いて覚える

漢字は、機械的に書くより、へんやつくり、字形を意識して書くと頭に入りやすく、忘れにくくなります。何回も書いて、確実に覚えるようにしましょう。

□ 意味の分からない語句は辞書で調べる

分からない漢字や語句が出てきたらすぐに辞書で意味を調べましょう。漢字の由来が分かるとおもしろいものです。また、言葉の意味が分かれば文章の内容は理解しやすくなります。「辞書をひいて分かる言葉を増やす」ことはとても大切です。小説や物語を読んで、自分の生き方を考えてみたり、気に入ったジャンルの本を読み比べたりしてみましょう。

学習方法のアドバイス！



○音読の回数は？

毎日続けるなら、一日一回でもいいです。

○漢字の練習は？

別に漢字ノートを用意するといいいですね。毎日、5～10くらいの漢字をそれぞれ1行程度書いてみましょう。

○分からない言葉が多いときは？

何日間か調べるか決めましょう。気になる言葉から順に調べるなどして、最後には、分からない言葉をなくすようにしましょう。

○読書はどんな本でもいいの？

まずは、いろいろな本に挑戦してみましょう。例えば、優れた絵本は、大人でも読んで楽しいものです。その中で、気に入った物語や小説が見つければ、同じ作者の本、同じテーマの本などを読むのもいいですね。



社会

★世界は、いろいろなことでつながっていて私たちの生活と密接に関連しています。歴史も現在につながっています。社会科で学習することは、今とこれからの社会の発展を考える上で必要です。

□ 学習したことをまとめる

復習に重点を置いて、「教科書から、重要語句や人物などをチェックして、ノートに書く⇒資料・地図などで重要語句や人物を確かめてメモする」など、授業中に学習したことを、分かりやすくまとめましょう。関係する事柄を図に表すのもいいですね。

□ 学習した内容を詳しく調べる

教科書に出てきた国や地域、歴史上の人物や出来事などを、図書館の本やインターネット等を活用して、より詳しく調べてみましょう。また、例えば、食品の表示されている原産国を調べるなど、身の回りにある食品や工業製品がどこでできているかなどを調べてみるのもいいでしょう。

□ 新聞やテレビのニュース・話題について考える

学習したことを、社会の動きと関連させて考えたり、生活の中で見つけたりすることも大切な学習といえます。また、地域や社会のできごとにも関心を持ち、新聞やテレビなどで話題になっていることを自分でも考えてみる習慣をつけましょう。

学習方法のアドバイス!

○地理的分野は?

地名は、地図帳で必ず確認するようにしましょう。グラフや資料から、おおまかな傾向をつかんだり、正確に読み取ったりできるようになりましょう。旅行のパンフレットを手がかりに、地図上で旅行するのもいいですね。

○歴史的分野は?

時代の流れや特徴をつかむことが大切です。日本と世界の出来事を並べた年表を作ってみるのもいいでしょう。

○公民的分野は?

分からない公民の用語は、必ず調べましょう。また、ニュースや新聞記事の内容が、教科書のどのページと関係があるのか探すと、理解が深まります。



数学

★生活していく上で、ものごとを論理的に考え表現する力などがとても大切になってきます。数学で文章題や図形の証明問題など、様々なことを学習することで、そのような力が身に付きます。

□ 授業で学習した内容を、その日のうちにやり直す

授業で学習した内容を自分のものにするには、繰り返し復習することが大切です。よく間違える計算などは、教科書の例題をもとに、手順や仕組みを確かめて、間違えた原因を確認する習慣をつけよう。

□ 教科書の例題を理解する

教科書の例題には、基本となる解き方や考え方が示されています。まず、例題に示されている解き方、式の意味や計算の仕方などを手がかりに、「自分で分かったと納得するまで」取り組むことが大切です。次に、もう一度、例題を、解き方を見ずに自分の力で解いて、自分が理解できているかチェックしましょう。練習問題にも挑戦しましょう。

□ いろいろな問題を解く

基本的な解き方が分かっても、文章題の表現が違ったり、問題の出され方が違ったりすると、なかなか解けないことがあります。教科書の例題をもう一度やり直す、授業中に学習した文章題と同じ種類の問題をする、いろいろな問題を解いて慣れるなどが大切です。

学習方法のアドバイス!

○式の計算・方程式は?

力をつけるには練習が第一です。まず、正しく解くこと、次に、スピードをあげることを目標に、こつこつ練習しましょう。

○図形は?

証明問題は、例題や解説を見て、条件や考え方、証明のための書き方などを理解しましょう。また、問題を読んで自分で図を書く練習も大切です。面積、体積、角度を求める問題は、図形の性質や定理を確認して、使えるようにしましょう。

○関数や確率は?

関数の問題は、グラフや表と、式の関係を理解することが大切です。確率は、図や表を書くことで分かりやすくなります。

理科



★身の回りの工業製品も科学技術の結集したものです。自然の現象も、私たちの生活と密接な関わりをもっています。理科を学ぶことで、自然の事物・現象についての理解、科学的な見方や考え方を身に付けることができます。

□ 教科書・ノートの見直しをする

教科書やノート、プリントには、学習のポイントが詰まっています。授業があった日に、それらを見て授業で学習したことをまとめることで、理解が進みます。図に書くのもいいですね。

□ 実験・観察は「目的・方法・結果・考察」をまとめる

授業でした実験について、「方法・手順」「結果から何がいえるのか」を、一つのまとまりとして、図やグラフも利用して自分なりに整理すると、学習内容を理解できます。

□ 学習内容と関係することを身の回りで見つける

学習内容と日常生活や社会との関連を考えたり、学習内容をもとにしてものづくりをしたり、観察や観測をしたりすると、原理や法則の理解が深まります。自由研究(論文)にも挑戦しましょう。

学習方法のアドバイス!

○ノートの整理は?

教科書を自分なりに整理して、図や色等を工夫して、ポイントをまとめると分かりやすくなります。

○実験のまとめは?

「～だから、これがいえる」という結論とその根拠をはっきり書くこと、器具の操作方法、試薬の性質、実験上の注意点なども大切なポイントです。

○教科書を分かるまで読む

1分野の問題など、教科書には考え方・解き方が示されています。「自分で分かったと納得するまで」取り組むことが大切です。練習問題にも挑戦しましょう。

英語



★国際化が進んでいます。英語は、皆さんが世界と出会うための一つの「道具」のようなものです。英語を学ぶことで、他の言語や文化への理解が深まったり、自分の可能性を伸ばしたりできるはずです。

□ 声に出して読む

授業の中で先生の発音をしっかり聞き取り、正確に発音するように心掛けます。「習った日に自分で音読」することが大切です。

□ 書いて覚える

教科書を見て、単語や英文を、ゆっくりと発音しながら正しく書き写します。「覚えるまで繰り返し書く」ことが大切です。単語も、文の中で覚えること、他の語と組み合わせることで、その語の意味やイメージが定着しやすくなります。

□ 基本文をマスターする

教科書の各ページに載っている「基本文」は、「意味が分かる、読める、書ける」を目標に、声に出して繰り返し書く練習をして、マスターしましょう。基本文の意味を日本語で書いて、今度はその日本語を見ながら英文で言ったり書いたりできるようにしましょう。

学習方法のアドバイス!

○英語の上達は?

とにかく毎日、英語に触れることです。例えば、音読なら、習った教科書の文を最低3回、できれば5回以上するとよいでしょう。また、習った表現を積極的に使って英語日記などにもチャレンジしましょう。

○単語の覚え方は?

単語ならノート1行分、英文なら1文につき5回くらい書くとよいでしょう。時間を置いて復習し、書けなかったものを中心に繰り返し練習しましょう。

○リスニング力をつけるには?

英語の音に慣れることです。しっかりと音読ができると、リスニング力もアップします。ラジオやテレビの語学番組を活用するのもよいでしょう。

その他

□ 手伝いなど、家族の一員としての役割を持ち、それをしっかり果たしましょう。

□ スポーツなどで体を動かしましょう。

□ 読書をしたり、展覧会に行ったりするなど、素晴らしい文学や芸術にふれる機会をたくさんつくりましょう。



「ひとり学び」チェック表

○「ひとり学び」の習慣が、どれくらい身に付いたか、自分でふりかえてみましょう。

☆ 自分の「ひとり学び」のメニュー

- ・何を(教科や学習内容)
- ・いつ(学習時刻)
- ・どのくらい(学習時間や量)
- ・その他

< はい○ もうすこし△ いいえ× >

チェックすること	チェックらん(月/日)		
	/	/	/
① 机の上やそのまわりなど、自分が学習する場所をきちんと片づけている。			
② 学習を始める前に、テレビや音楽を消している。			
③ 宿題をすませてから、自分の学習に取り組んでいる。			
④ 自分が決めた時刻になったら、すすんで学習している。			
⑤ 宿題がなくても、毎日、学習している。			
⑥ 遊ぶ時間帯と学習する時間帯をはっきりと分けて学習している。			
⑦ 見直しや答え合わせ、まちがい直しなど、学習の振り返りをしている。			
⑧ 分からないことをそのままにせず、聞いたり調べたりしている。			
⑨ 自分が決めた学習時間を守っている。			
⑩ 自分に必要な学習内容を考え、計画的に取り組んでいる。			
⑪ 睡眠を十分にとっている。			
⑫ 毎朝、朝食をしっかり食べている。			

☆ ふりかえてみて、次がんばること

5. 西中学校ホームページについて

♪学校のホームページにお越しください♪

ホームページへのアクセス方法は…

スマホで QR コード撮影・検索ができます！

＜その1＞インターネット検索エンジンから

Google 日本 YAHOO! JAPAN などから

大阪市立 西 中学校

検索



ホームページが表示されたら、
ぜひ「お気に入り」に登録して
くださいネ！

＜その2＞大阪市教育委員会・にぎわいねっと(大阪市教育センター)のホームページから

西中のホームページは平成 26 年度の大阪市の中学校のホームページの中でアクセス数が上位でした。

授業用物品の案内や進路の最新情報など、役立つ情報満載です。

ぜひご覧ください！！

() 年 () 組 () 番 名 前 ()